

## 1. 短期展望 (p. 1)

### ① [3月危機に備えよ!]

イラク・北朝鮮危機、銀行と生保の同時破綻など、3月危機の可能性あり。

### ② [G7実質効果なし]

G7ではスノー新財務長官の強いドル擁護と、塩川財務相の人民元切り下げを求める勇気ある発言が目をつけた程度。

### ③ [対イラク攻撃：短期に終われば世界経済にプラス]

アメリカの対イラク戦の短期勝利は間違いないが、後始末が問題。ブッシュは大ユーラシア制覇戦略を2004年大統領再選後に着手したい。

### ④ [英・仏・独・露・中等の対応をどう見るか]

サダム排除に関しては各国は一致している。自国の決断を如何に米国に高く売りつけるかが問題のポイント。反戦反米運動はイラク・北朝鮮の傀儡。

### ⑤ [アメリカにおける日本核武装許容論の背景]

米国発の日本核武装容認論は対イラク戦、北朝鮮危機に対する日本の当事者意識の欠如を突くもの。日本の核武装は台湾、インドとの協力により実現すべし。

## 2. 展望①朝鮮半島情勢 (p. 8)

① [北朝鮮・イラク連携] 中東と朝鮮半島での二正面作戦という米軍最悪のシナリオを演出する北・イラク。北京とヨーロッパの反米勢力は背後から支援。

② [「コロンビア」爆発の軍事的意味] 1986年に爆発した「チャレンジャー」同様、「コロンビア」は「スターウォーズ」構想のための重要な実験飛行だった。

③ [北主導の南北統一と第二次朝鮮戦争] 北朝鮮の対南工作員による大邱地下鉄テロ事件。盧武鉉新政権はこれを黙認し、北との宥和政策をいっそう推進。

## 3. 展望②プーチン・ロシアによる最後の和平調停 (p. 1

2)

プリマコフ元ロシア首相がフセイン説得にバクダッド訪問。さらにバローシ大統領府長官もプーチン特使としてブッシュと会談。プーチンは最後の瞬間までブッシュとアラブ世界の意向を汲んで和平調停努力中。

## 4. 展望③ワシントンレポート (p. 15)

CFG アソシエイツ菅原出がイラク攻撃前夜のワシントンを訪問。有力シンクタンクや研究者を訪問し、米政権内のネオコン派對国際協調派の対立状況をつぶさにレポートする。